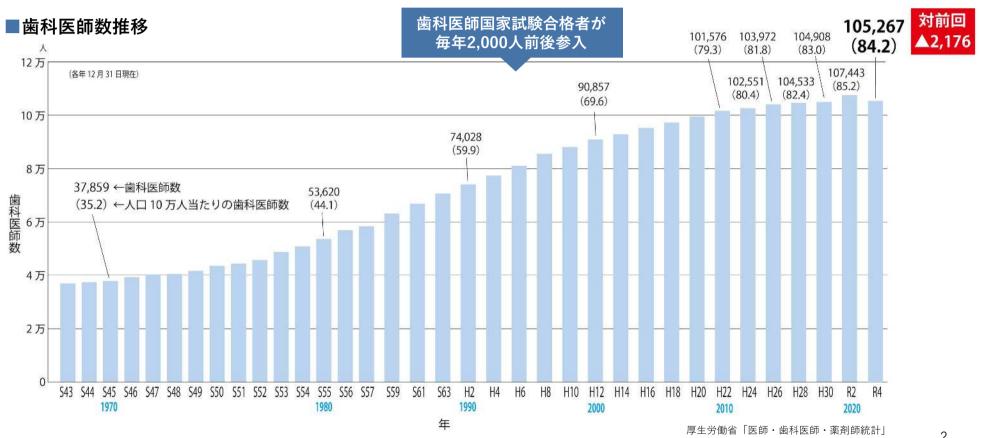


実情:歯科医師数は約10万5千人。 年々増加してきたが、令和2年をピークに、初めて減少に転じる



日本の歯科医師数は 世界的に見ると過剰ではない

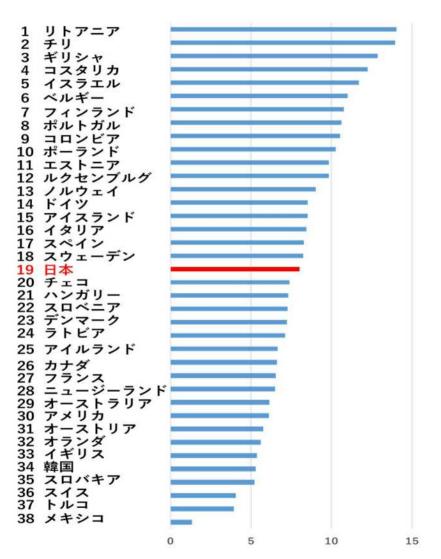
人口当たりの歯科医師数の比較では、 日本の歯科医師数は

OECD加盟38国の中で19位

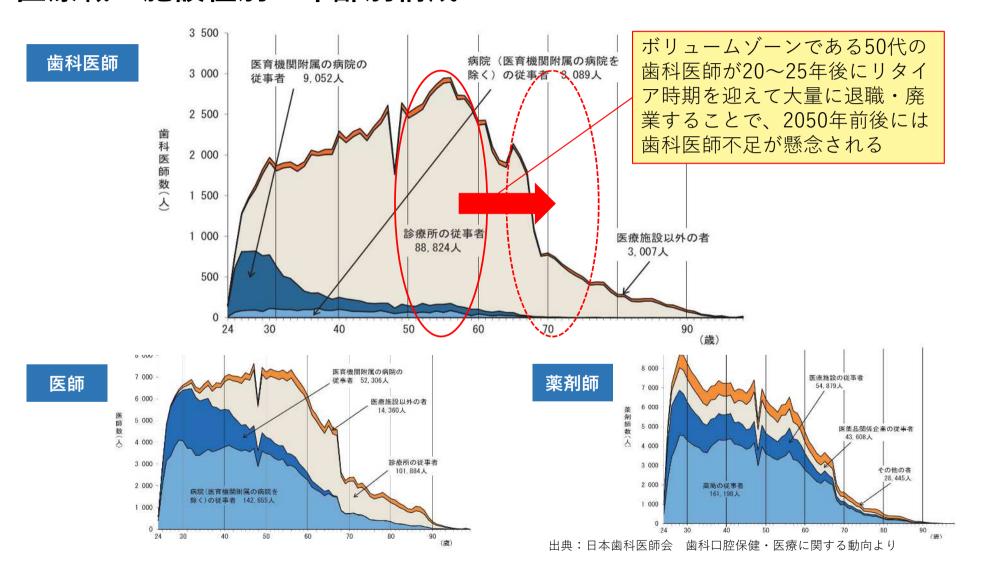
世界では中位であり、 決して歯科医師が過剰だとはいえず、 今後はさらに減少していこうとしています。

WHOのホームページでは Global Health Observatory (GHO) data という世界各国の医療・病院・クリニック・健康に関する統計データを公表しています。

■OECD加盟国-人口1万人当たりの歯科医師数(2022)



医療職の施設種別・年齢別構成



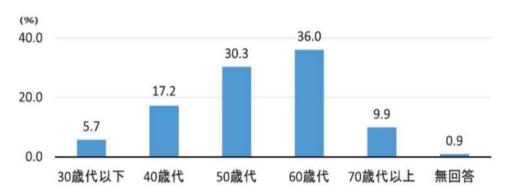
開業歯科医

(歯科診療所開設者)の46.8%が60歳以上。77.1%が50歳以上。9割は継承が決まらない

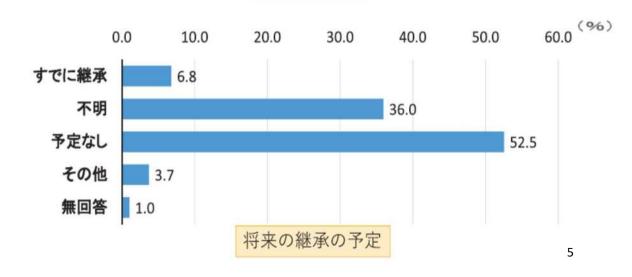
日本歯科医師会会員である歯科医療機関の管理者いわゆる開業歯科医約1万名にアンケート調査

地域包括ケアシステムにおける「かかりつけ歯科医師が果たす役割と今後の働き方等」(2020年3月)に関する調査 日本歯科総合研究機構

■歯科診療所管理者の年代及び将来の継承の予定

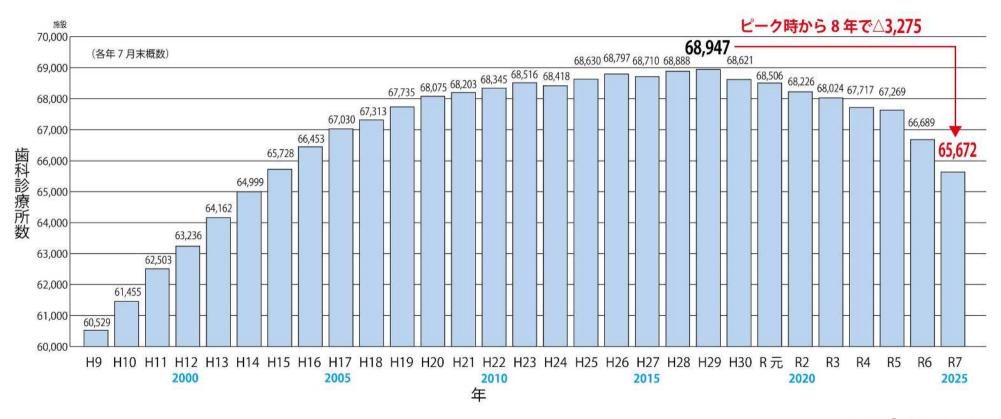


管理者の年代



歯科診療所は約6万6千施設。すでに減少が始まっている!

■歯科診療所数の年次推移



歯科医師のいない地区が 全国に約1,250もある

■全国の無歯科医地区、準無歯科医地区 〈2022年(令和4年)〉

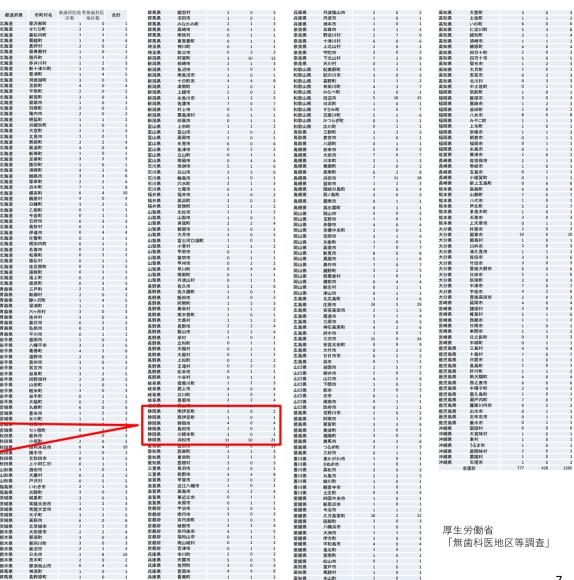
全国の無歯科医地区数 784地区 465地区 準無歯科医地区数

計1249地区が歯科医療過疎地区となっています。

●例えば静岡県では…	無歯科医 地区数▼	準無歯科医 地区数▼	合計▼
静岡県南伊豆町	2	0	2
静岡県西伊豆町	1	0	1
静岡県静岡市	4	0	4
静岡県島田市	1	0	1
静岡県川根本町	2	0	2
静岡県 浜松市	11	10	21

無歯科医地区:歯科医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点とし て、おおむね半径4kmの区域内に50人以上が居住している地区であって、かつ容 易に歯科医療機関を利用することができない地区

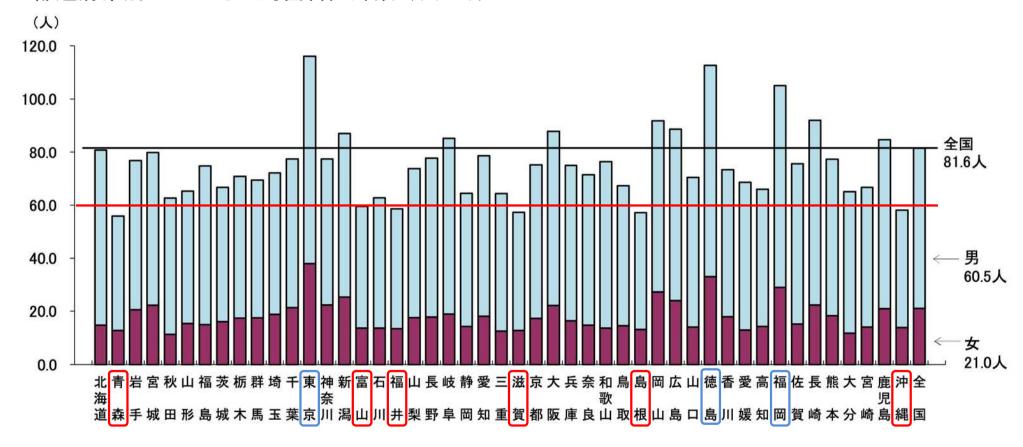
準無歯科医地区:無歯科医地区には該当しないが、無歯科医地区に準じた歯科医 療の確保が要な地区と各都道府県知事が判断し、厚生労働大臣に協議できる地区。



厚生労働省 「無歯科医地区等調査」

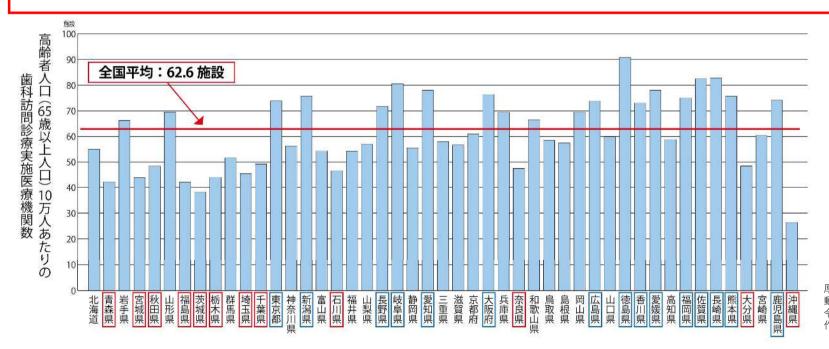
歯科医師配置偏在の問題(最大で2倍以上の地域間格差)

■都道府県別人口10万人対歯科医師数 (令和4年)



要介護者に対して歯科訪問診療を実施しているのは、全国平均で高齢者10万人あたり約63施設

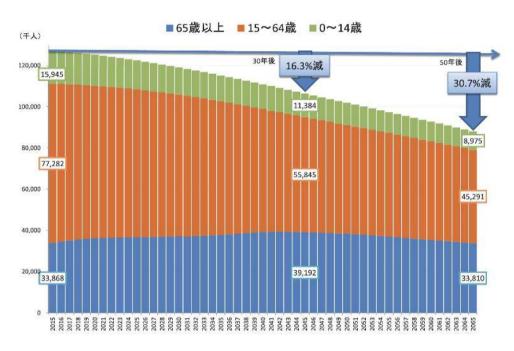
- ■都道府県別の歯科訪問診療実施医療機関数 (令和5年)
 - ●高齢者人口(65歳以上人口)10万人あたりの歯科訪問診療を実施している医療機関数は、全国平均で約63施設であった。
 - ●同様の調査で平成28年は約40施設、令和2年は約66施設だったので、増加傾向からやや頭打ちとなっている。
 - ●最も多い徳島県で約91施設、最も少ない沖縄県で約26施設と都道府県によってばらつきがみられる。



厚生労働省「令和5年 医療施設(静態・動態)調査」と総務省統計局「人口推計 令和5年」より日本私立歯科大学協会が 作成

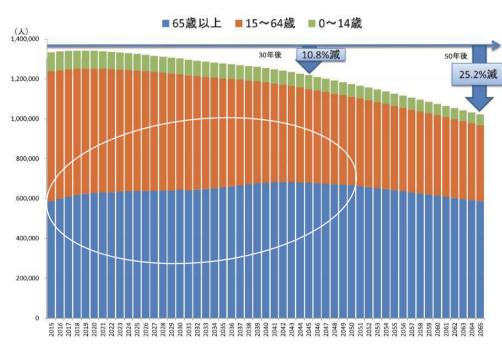
人口が減少しても高齢者の歯科患者数は増加が続く

■今後50 年後までの人口推計



国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成29年推計) | より日本歯科総合研究機構作成

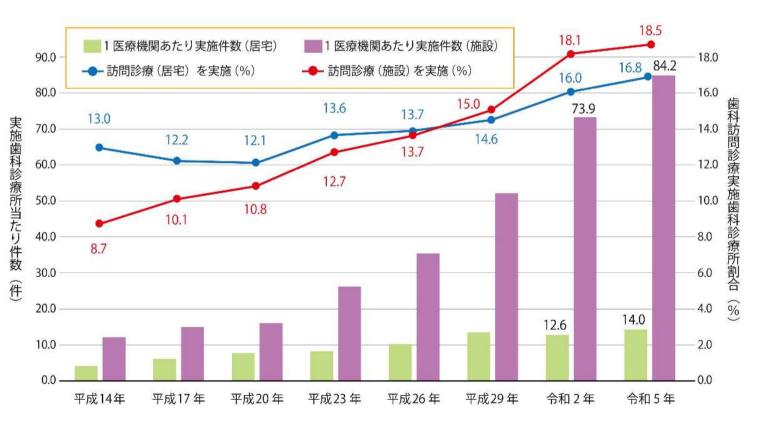
■今後50 年後までの歯科診療所患者数推計



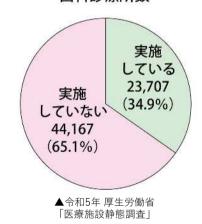
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成29 年推計)」および厚生労働省「患者調査」より 日本歯科総合研究機構作成

歯科訪問診療は増加してきたが、いま、歯科に望まれている ニーズに応えるためには、歯科医師が足りない

■居宅・施設別の歯科訪問診療を実施している歯科診療所の割合と1診療所あたりの実施件数推移



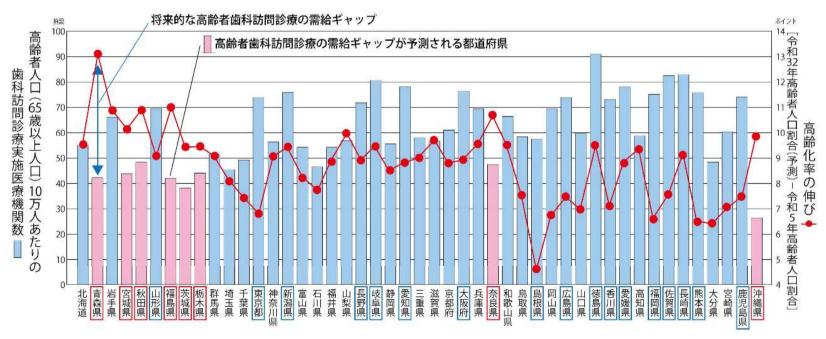
歯科訪問診療を実施している 歯科診療所数



- ■厚生労働省「医療施設静態調査」より ※令和2年と5年の「施設」は
- 「病院・診療所」と「介護施設等」を 合わせた数字
- ※平成23年は宮城県の石巻医療圏、気仙沼 医療圏及び福島県の全域を除いて算出

高齢者の増加率が高くて 高齢者への歯科訪問診療実施医療機関数が少ない地域は 訪問診療ができる歯科医師の育成・増員が急務

- ■都道府県別の歯科訪問診療実施医療機関数(令和5年)と高齢化率の伸び(令和5年(2023年)▶令和32年(2050年)予測〉
 - ●都道府県別に65歳以上の人口割合を令和5年(2023年)と令和32年(2050年)予測で比べてみると、地域ごとの高齢化の伸展スピードがわかる。※折れ線グラフの数値は[令和32年高齢者人口割合-令和5年高齢者人口割合]



- ■棒グラフ:厚生労働省「令和5年 医療施設(静態・動態)調査」と総務省統計局「人口推計令和5年」より日本私立歯科大学協会が作成
- ■折れ線グラフ:令和5年は総務省「人口推計」、令和32年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)

むし歯を治すだけじゃない!新たに広がる歯科医師の領域

災害歯科



摂食・嚥下リハビリテーション



睡眠歯科



インプラント



顎関節症



再生歯科(歯牙・歯周組織の再生)



スポーツ歯科



歯科麻酔



地域から行政まで、歯科医師の活躍の場は多岐にわたる

●学校(小中高)で歯科健康診断や歯科保健指導、歯科保健教育などを行います。 学校歯科医 ●普段は歯科医院等で勤務し、健診時に学校へ出向く非常勤職員(公務員)です。 ●塩酸、硫酸等の有害物質を取り扱う特定の業務に従事している労働者に健康診断を行う歯科医師です。 産業歯科医 ●事業所に出向いたり勤務先の歯科医院を受診してもらって検診、アドバイスなどを行います。 ●事件や災害等で亡くなった方の歯型や治療痕から該当者の確認を行います。 警察歯科医 ●東日本大震災等における犠牲者の身元確認でその有用性が明らかになっています。 ●歯科医師免許を持った陸海空自衛隊の幹部自衛官です。 歯科医官 ●自衛隊の病院や基地の医務室などで歯科健康診断、診療、健康管理を担います。 ●厚生労働省や地方自治体・保健所などにおいて、保健医療や公衆衛生の分野で、口腔に関する専門知識を 行政・保健所 歯科医師 活かし、行政官として歯科医師が活躍しています。

歯科医師の需要は高く、求人倍率はなんと13倍以上!

■私立歯科大学・歯学部卒業生への求人状況(2024年3月卒業)

【件数ベース(11歯学部)】

卒業生数	求人件数	求人倍率	
1,010人	7,342件	7.27 件/人	

【人数ベース(10歯学部)】

卒業生数	求人人数	求人倍率
906人	11,863人	13.09倍

一般社団法人 日本私立歯科大学協会調べ

○参考 大卒求人倍率 (2024年3月卒業予定)

民間企業 就職希望者	求人総数	求人倍率		
45.1万人	77.3万人	1.71倍		

株式会社リクルート リクルートワークス研究所調べ

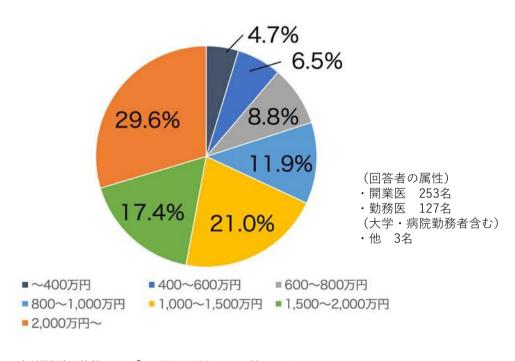
職業別年収ランキングで歯科医師は第3位に浮上!

■主な専門職の職業別年収ランキング

順位 職種	平均年収 (令和6年)		令和 3 年の 位と平均年収
1 航空機操縦士(パイロットほか)	約 1,697 万円	2	約 1,072 万円
2 医師	約 1,338 万円	1	約 1,378 万円
3 歯科医師	約 1,136 万円	8	約 787 万円
4 大学教授(高専含む)	約 1,093 万円	3	約 1,072 万円
5 管理的職業従事者	約 917 万円	7	約840万円
6 その他の経営・金融・保険専門職業従事者	約 903 万円	4	約 1,030 万円
7 獣医師	約 885 万円	24	約 592 万円
8 大学准教授(高専含む)	約 881 万円	6	約856万円
9 公認会計士、税理士	約 856 万円	16	約 659 万円
10 法務従事者(弁護士ほか)	約 765 万円	5	約 945 万円
11 電気・電子・電気通信技術者	約 755 万円	21	約611万円
12 システムコンサルタント・設計者	約 753 万円	9	約 734 万円
13 研究者	約 750 万円	10	約 714 万円
14小・中学校教員	約 727 万円	11	約 699 万円
15 大学講師・助教(高専含む)	約712万円	13	約 694 万円
16 輸送用機器技術者	約 701 万円	18	約 647 万円
17 企画事務員	約 691 万円	19	約 621 万円
18 著述家、記者、編集者	約 681 万円	12	約 696 万円
19 高等学校教員	約 679 万円	14	約 693 万円
20 機械技術者	約 669 万円	26	約 587 万円

■歯科医師の年収はいくらですか?(アンケート調査 n=383)

年収1,000万円以上が7割! 年収2,000万円以上が3割!



歯科医師向け情報サイト「WHITE CROSS」https://www.whitecross.co.jp 歯科医師の年収に関する調査 2021

歯科医師はやりがいがあり安定性も高い生涯続けられる仕事

就職率100%!

- 開業も含め、歯科医師の就職率は100%
- ・歯科医師の求人は多く、私立歯科大学・歯学部への求人件数は13倍以上
- ・このご時世で「歯科医師国家資格」は大変心強い資格といえる

生涯続けられる仕事

- ・歯科医師免許はライセンスの更新や定年のない生涯有効な国家資格
- ・歯科医院で働いている70歳以上で現役の歯科医師は1万人以上
- ・自分で定年を決められる

国民の健康とQOL向上に直結 したやりがいの高い仕事

- ・食べる、話す、息をするといった大切な機能を持つ口の健康を支えるのが仕事
- ・子供から高齢者まで、口の健康を維持・改善することで健康とQOL向上に貢献
- ・治療によって目に見えて患者のQOLが上がるため、感謝されることが多い

